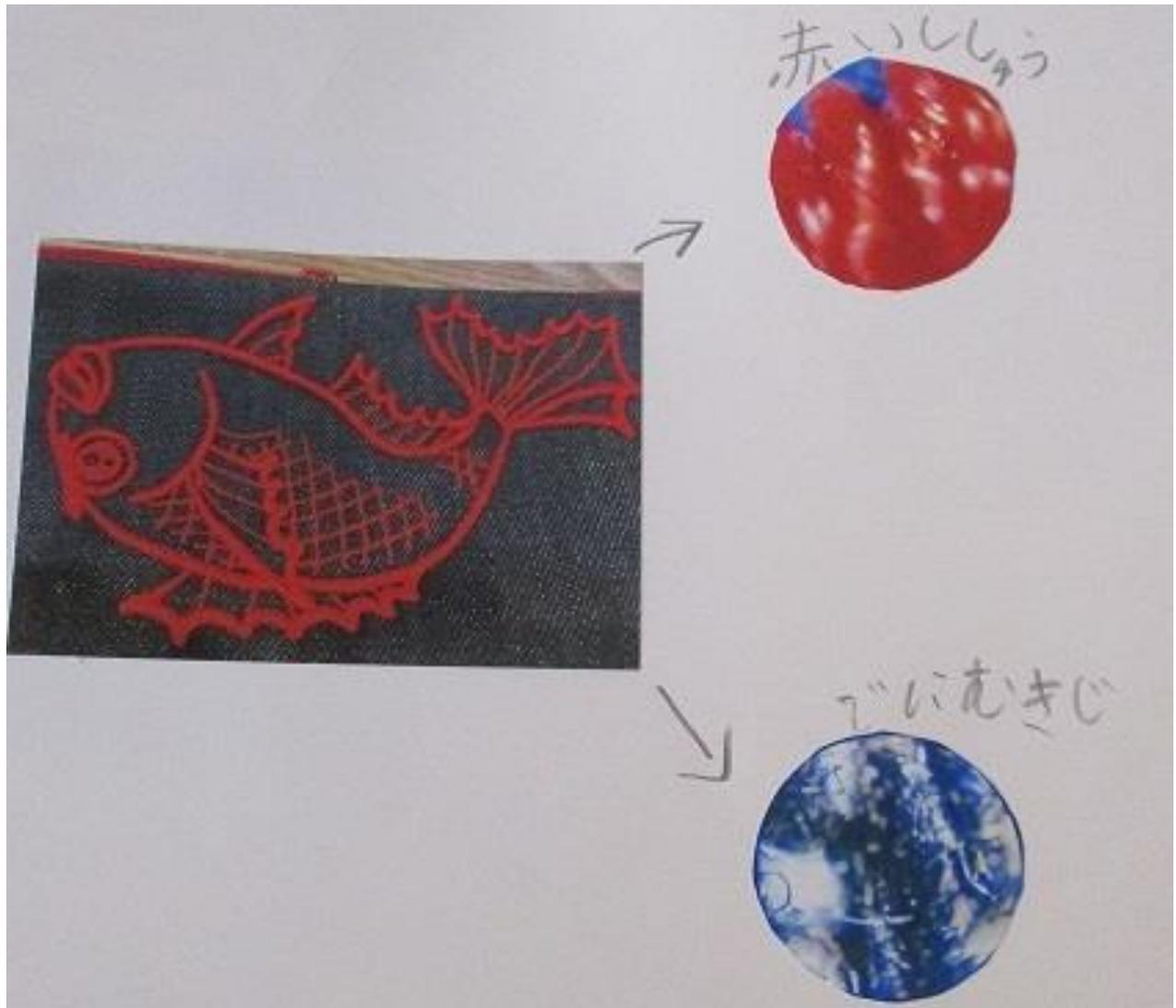


「目にみえないものがいっぱい」

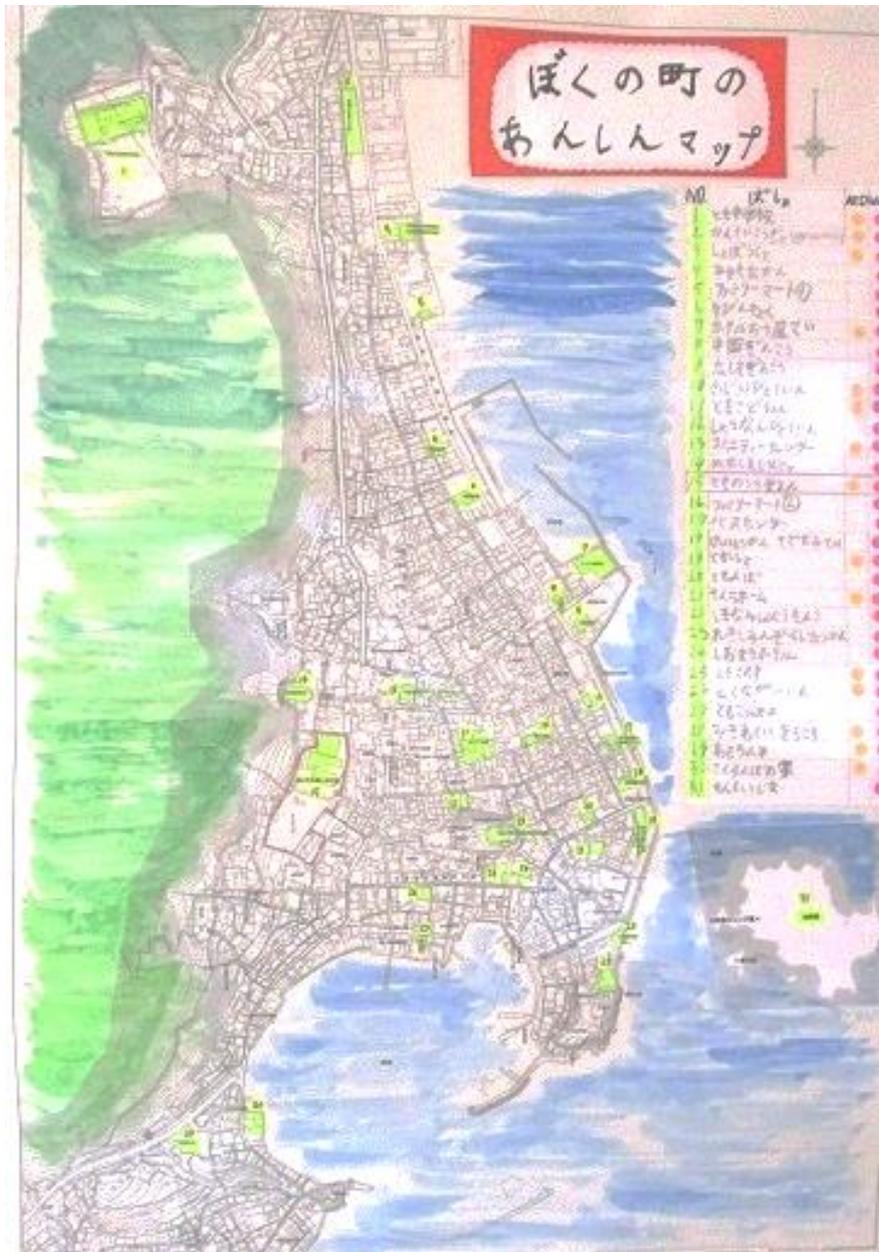
鞆の浦学園 2年 沖浦 峻仁



身の回りにはいろいろなものを、大きくかくだいで、しゃしんにとりました。いつもの見え方とはまったくちがったものが見えて、びっくりしたしとてもおもしろかったです。ぼくたちのみの回りには、目にみえないものがたくさんあることが分かりました。

「ぼくの町のおんしんマップ」

鞆の浦学園 2年 瀬尾 悠之介



「AEDをつかって人の命をすくうことができた」というニュースをテレビで見て、すごいと思いました。ぼくのすんでいる町にはどこにAEDがあるのか知りたいと思って、町を探検したりインタビューしたりして、分かったことを地図やノートにまとめました。

「町中でクワガタを見つけよう！」

鞆の浦学園 2年 中山 貴一

町 中 で ク ワ ガ タ を 見 つ け よ う !

ぼくのうちは、ともりのかんこうちにあります。
 かいだんをのぼるとおく上があります。
 よるは光がつくので 虫がくると思いました。
 おく上にトラップをしかけることにしました。

ようりしたトラップ

くさりかけのスイカ、バナナ、モモをおさげとまぜて、はこうさせました。
 ネットやようきに入れてトラップをつくりました。よるはライトをつかいました。



まい 8 午後 9 時に 見 に 行 きました。

8/31	なし	8/11	ゴキブリ 1匹
8/1	ガ 1匹、ハナ 1匹	8/12	なし
	ハネアリ 2匹	8/18	ゴキブリ 3匹
	ゴキブリ 1匹	8/19	ゴキブリ 1匹
8/2	ゴキブリ 1匹	8/21	なし
	カメムシ 1匹、クワガタ 1匹	8/22	ゴキブリ 1匹
8/27	なし		アリ 4匹
8/8	ヤモリ 1匹	8/25	なし
8/9	なし	8/28	クワガタ 1匹
8/10	シロアリ 3匹		

分 か っ た こ と

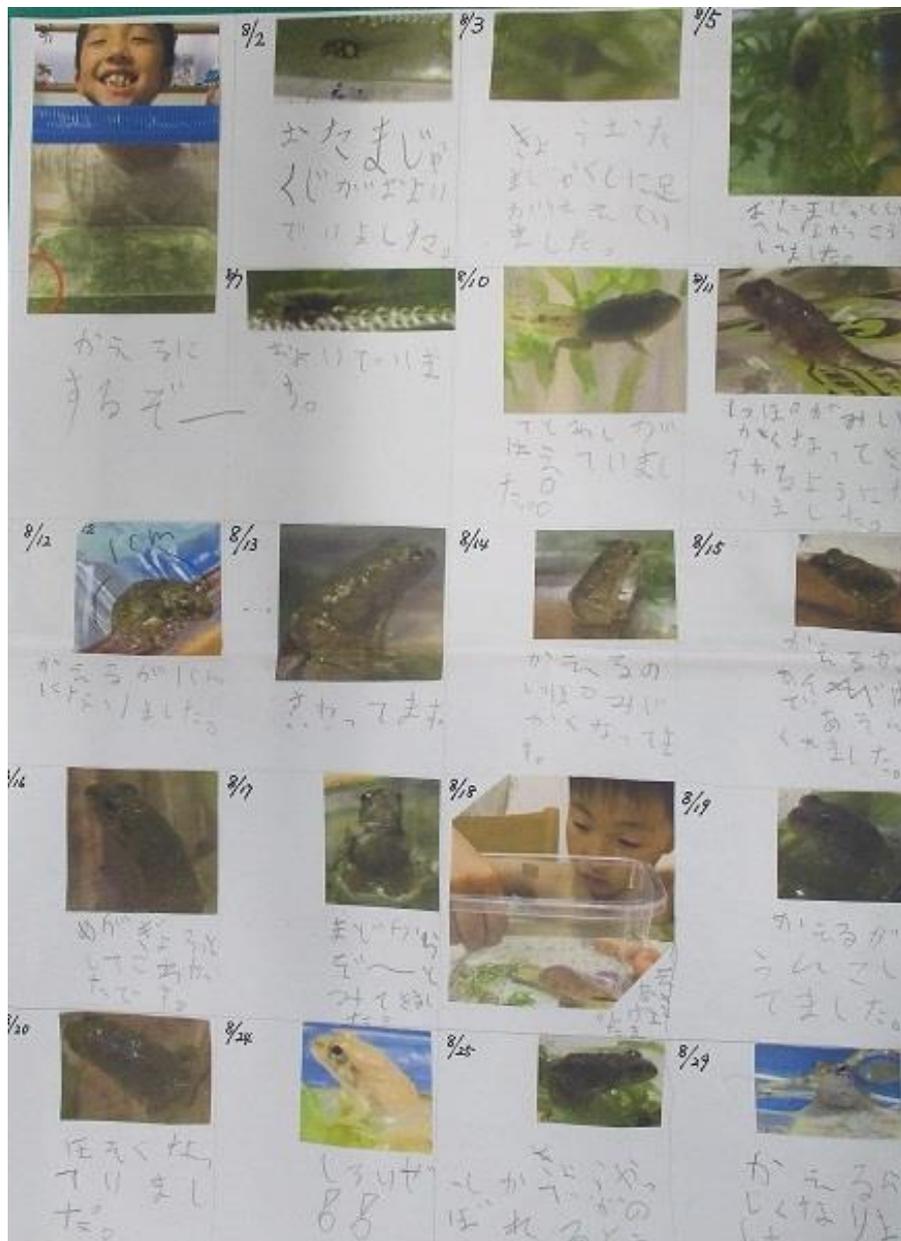
クワガタは町中では見つからないことが分かりました。
 ほかの虫はゴキブリでした。ゴキブリはじが できるかも知れません。



ぼくの家にはおく上があります。夜には光がつくので、たくさん虫が来ると思い、トラップをしかけてまい日かんさつしました。ぼくの大すきなクワガタは見つからなかったけれど、いろいろな虫が来てたのしかったです。

「おたまじゃくしからカエルになるまで」

鞆の浦学園 2年 羽田 寧音



おたまじゃくしからカエルに大へんしんするのをまい日かんさつしながら世話をしました。台所にいるカエルといっしょにすごして毎日たのしかったです。「今までありがとう。」とつたえました。

「ともに新聞」

鞆の浦学園 6~9年 学園会

ともに新聞

第一号

〇二〇三年(令和四年)七月

鞆の浦学園 学園会

「ともに新聞」第一号 刊行

鞆の浦学園の学園会の子も達が中心となり、地域をつなぐ新聞を刊行します。

中国新聞社 山川文音さんとの出会いをきっかけに生まれた「地域の方達とつながりたい」「人と人とのつながりを生み出したい」という私達の思いが形になりました。取材を行い、記事を作成していく手作り新聞です。毎月発行していきます。

六月二十日に、山川文音さんの出前講演を受けました。三年生、四年生が、それぞれの学年に合った内容でお話を聞き、自分ごとで興味がわくこと、もっと知りたいこと、やってみたいことを見つけてきました。

新聞名決定!

五年生の三宅由珠さん作の「ともに新聞」に決定しました!

「ともに」が意味するものは・・・

- 一 鞆(とも)に彩りを!
- 二 友(とも)に喜びを!
- 三 共(とも)に生きよう!

「絆が深まり手をつなぐ」

「絆」リレー NO.1

鞆の新聞家を総行進中。

鞆小学校出身の山川文音さんは、現在中国新聞社に勤務し、鞆に関わって取材を積極的に行い、新聞記者として活躍しているとおられます。記者として大事にしていることは、事前にしっかりと準備しておくこと、「取材の目的が準備で決まる」ということを常に意識し、質問内容を決めておくこと、ということ。また記事には正確さが求められるため、聞き取る直接聞かせる中で、伝わってきた人の人物や入稿生記事を通して伝えていきたいと笑顔で語られました。

取材や出前授業の中で、山川さんから大切なことをたくさん学んだので、今後の取材活動に活かしたいと思います。また準備することの大切さは、私たちの成長に繋がって、すべてに繋がります。これから意識していきたいです。

(九年 山本 八穂)

鞆の景色

(八年 松木 美里)

絵の好きな児童生徒が描きました!

本題は、鞆の景色を描きました。

鞆の景色は、とても美しいです。海と山が、とてもよく合っています。

夜は、とても静かです。星が、とても綺麗です。

「なでしこの花の苗」

美化委員会が種から育てたなでしこの花の苗があります。おうちで育ててみようと思われる方は、鞆の浦学園までご連絡ください。

TEL (084) 98212043

(七年 田口 晴也)

ありがとうございます

NO.1

創業三十八年、おいしいラーメンの味を守り続けている十八番の上田泉さん。長い間、お店を続ける原動力となったのは、「お客さんからの「おいしかったよ」「また来るよ。」という嬉しい声。また来てもらった時に、「味が変わった。」と思われずに、同じ味を守り続けていこうです。

以前の家族の「きやかな笑い声がある。今の店内に戻るよう」と願いが、今日も仕込み作業を頑張らせてもらいます。

チャレンジウィーク活動させていただく中で、お客さんはもちろんのこと、働いているコミュニティメンバーにも大切なお話を聞きました。そして、自分の役割を果たすための責任感が必死だと学びました。これらも、相手のことを考えてコミュニケーション力を高めていきたいと思えます。貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

鞆出身の中国新聞社山川文音さんの講演を聴いて、「地域の方達とつながりたい。」「人と人とのつながりを生み出したい。」という思いが生まれ、新聞発行を実現させました。鞆の町に出ているいろいろな方に取材をすることが楽しいです。そこで気付くこともたくさんあり、それを学園みんなに返していきたいです。日頃の感謝の気持ちが伝えられるのもうれしいです。